

2017年9月

ないわくせい すいせい きんせい

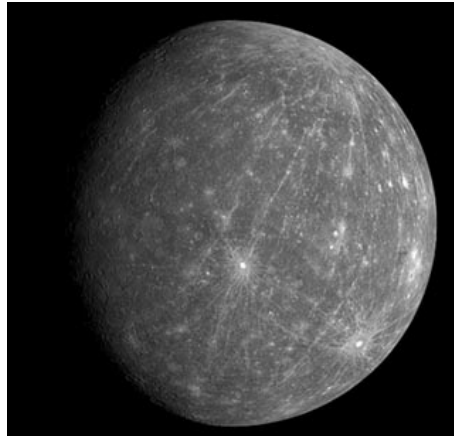
内惑星(水星と金星)を見よう！

発行：福岡県青少年科学館

ないわくせい

『内惑星』とは？

太陽系には、地球を含めて8個の惑星が存在します。これらは内側（つまり、太陽に近い順に）水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星の順に並んでいます。これらの惑星の分け方の1つに内惑星と外惑星というものがあります。内惑星とは、私たちの住む地球より内側（太陽に近い）の軌道を回る2つの惑星（水星と金星）のことを言い、外惑星とは、地球より外側の軌道を回る残り5つの惑星を外惑星と言います。



画像：水星のようす/NASA



画像：金星のようす/NASA

久留米市の日の出

9/4 午前5時53分

9/12 午前5時59分

9/20 午前6時04分

9/4
9/12
金星
9/20

9/12
水星
9/20
9/4

東

【久留米市 9/4, 9/12, 9/20 日の出 10分前の空】

画像：ステラナビゲーターVer.10で作成

※図に描かれた「マス目」の間隔は高さ・幅ともに 10° です。

太陽系の惑星の中で最も内側を回っている水星は、地球から見ると、常に太陽と近い方向に位置するため、観察するのが難しい惑星です。地動説で有名な天文学者であるコペルニクスも、生涯水星を見たことがなかったというお話が残っているほど、水星はなかなか見られない天体です。

しかし、9/12に水星が西方最大離角（日の出時の東の空で観望の好機）となり、その前後には、日の出時の東の低空で観察しやすくなります。また、水星の近くには明けの明星の金星も見えていて、内惑星である水星と金星を同時に観察することができる良い機会となっています。

2つの惑星は、見える高さが左の図のように変化していきます。9/12は水星の高度が最も高く約 17°、金星の高度は約 28° です。『明けの明星』と言われるくらい、明るく輝いて見える金星の少し下（こぶしを握って腕を思い切り伸ばしたときの、こぶしの幅が約 10°）あたりに水星をさがしてみるといいでしょう。